

TNF受容体サブタイプ選択的な新規バイオリクス 「TNF-alpha機能改変体」の創製

炎症性サイトカインであるTNF-alphaは、TNFR1とTNFR2の2種類の受容体サブタイプを介して様々な生理作用を示し、免疫疾患やアレルギーの病態に関わります。

我々は、近年、免疫抑制への関与が示唆されているTNFR2シグナルに着目し、「**TNF受容体サブタイプ選択的に活性を制御できる新規バイオリクス**」を創製しました。現在、その高機能化と疾患治療薬としての有用性について探っています。

POINT

TNFR2シグナルに着目したTNF受容体サブタイプ選択的なバイオリクス

講師紹介

神戸学院大学 薬学部 生体機能制御学研究室 助教 井上 雅己氏

2002年広島大学医学部総合薬学科卒業。2013年同大学院医歯薬学総合研究科博士課程後期修了。博士（薬学）。2004年～ロート製薬株式会社研究員、国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所研究員を経て、2016年より現職。がんや免疫疾患の治療薬を目指したサイトカイン機能改変体や高機能抗体の研究を行っている。



TNF-alpha機能改変体

